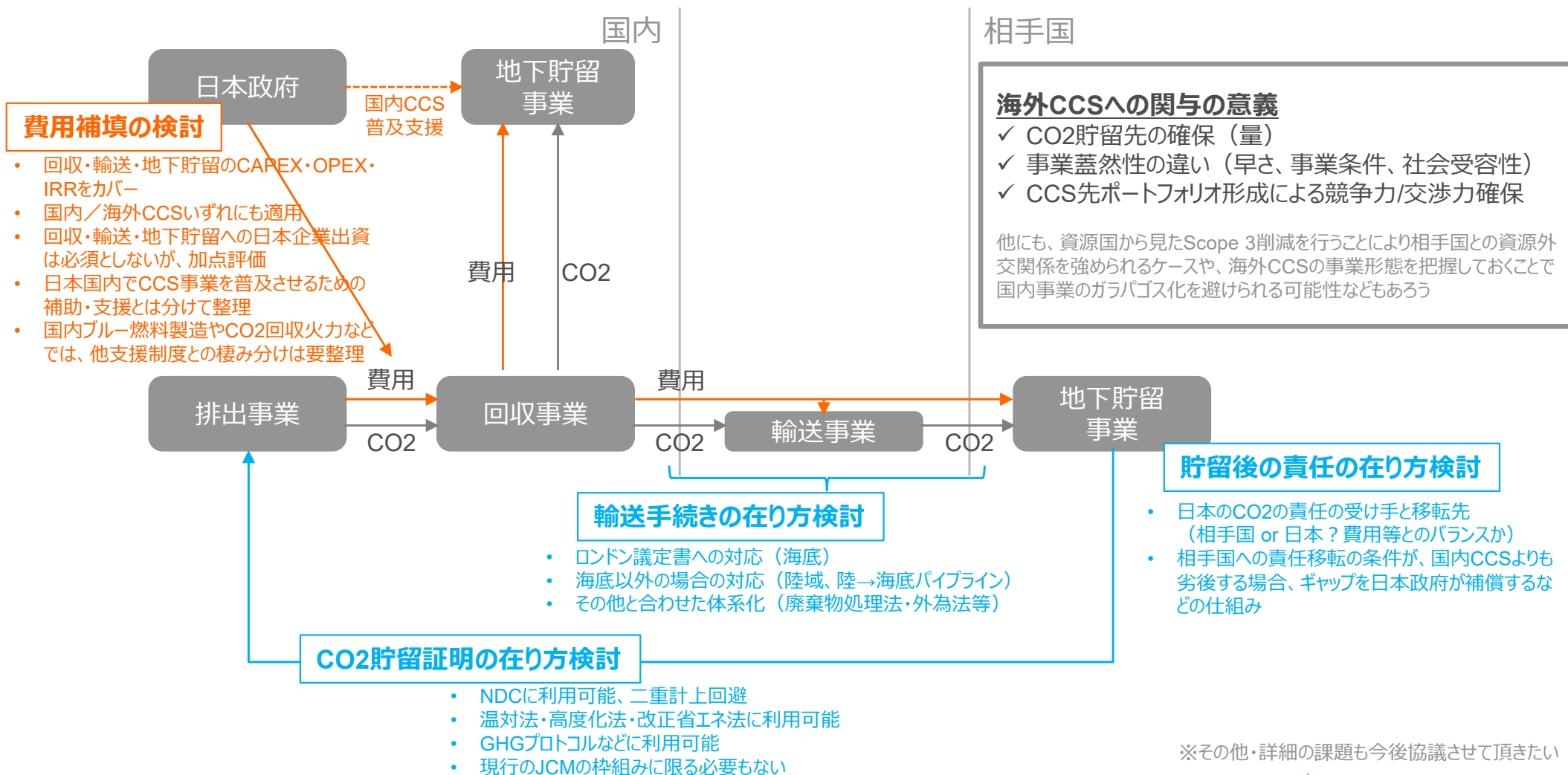


- 日本で排出されるCO2をより多く早く確実に削減する為に、海外CCSも積極的に活用できる仕組みが必要。足元CCS開発は他国が先行。アジアの脱炭素化における日本のリーダーシップ発揮や、CCSポートフォリオ形成を通じたCCS単価削減や交渉力にもつながり得る。
- 政府に検討をお願いしたい事項を①**資金面**、②**制度面**に分けて以下 概念図上で整理する。（実際の費用やCO2の流れは図と異なるケースはあり得る）
  - ①**資金面**：普遍的なカーボンプライシング不在のなか、CO2の回収・輸送・地下貯留すべてをカバーする費用補填の枠組みが国内／海外CCS問わず必要。その枠組みの中で競争やコスト削減努力を促し、CCS事業の早期普及を図るべきではないか。
  - ②**制度面**：費用補填の対価として日本の便益に資するCO2貯留証明、ロンドン議定書対応に限らない網羅的かつ簡潔なCO2輸送手続き、日本から運ばれたCO2の貯留後の責任、などに関する整理をお願いしたい。



※その他・詳細の課題も今後協議させて頂きたい